

こども食堂*みらいのたね

「こども食堂」を知っていますか？

子供と大人の世代間交流の場所です。

近年、社会問題化している犯罪の低年齢化。これは、核家族化や共働き家庭の増加などによる子供のコミュニケーション能力の低下が、その原因の一つといわれています。

こども食堂は子供に食事を与え、貧困から救うための活動、と思われがちです。それは間違っていないですが、それだけではありません。「食」という共通のテーマを通じた心の交流活動です。

”一緒に食べる”と安心する”

これが、こども食堂の趣旨です。一家だんらんを味わったことのないこどもたち。そして、かつては大家族で育ち、今は一人か二人でお食事をしている大先輩の方々。同じ地域に住んでいながらなかなか交流することのない多世代の住民が、同じ食卓を囲むことで時間と味覚を共有し、そこで様々な価値観に触れ、子供が話したり、安心したり、自信を持ったりすることができたら、という思いがきっかけで始まったのが「こども食堂*みらいのたね」です。

みらいのたね と あすのたね

子供は未来の種・大人は明日の種を蒔く

子供は、もちろんみらいのたねをたくさん抱えた地域の宝物です。このまま少子高齢化が進めば、このいわき市も、どんどん人口が減少していきます。平の町から子供の声がどんどん消えていくのも目に見えています。だからこそ今、今の子供たちが大人になっても、愛着が持てる町になるために種をまこう！私たち大人ができるのはせいぜい明日の分の種を今日蒔いておく、くらいのことです。という思いが、運営団体の名前「あすのたね」には込められています。

どうしてこの活動を始めたのか

今、息詰まる思いを抱えて苦しんでいる子供と、その親を助けたい。

子育ての問題は、家庭内だけで解決すべきでしょうか。私は違うと思います。

子育てをしている親たちは、どうしても自分の子供にはしつげに走りがちです。なぜなら、子供が何かおかしい行動をとると「ママがちゃんとしつげないからね」といわれてしまうからです。

もちろん気にしない親もたくさんいますが、たいていの親は傷つきます。そうして、中には不適切な養育環境が外から見られないよう、家に閉じ込めてしまうケースが生まれます。

それは極端なケースではありません。しかし日本中で起こっている多くの事件の原因はここにあると思います。今、日本では、自殺や虐待によって、毎年300人から400人の子供が命を落とします。計算すると、毎日一人が自殺し、毎週一人が虐待によって亡くなっていることとなります。その命の一つ一つに輝く未来があったと思うと、胸が締め付けられる思いです。せめて身近な子たちを失いたくない、という思いから、この活動を始めました。

スタッフとしてはもちろん、食事だけでも参加できます。気軽にどうぞ。

こんな方に参加してほしいです！

- いつもご飯を作っているけど、なんだか作りがいが無い。
 - ひとりで食べるのは寂しい。たまにはおしゃべりしながら食事したい。
 - ボランティアに興味はあるけど、何をしたらいいかわからない。
 - 子育てから解放されて自由になったけど、ちょっと物足りない。
 - 単純に、子供と遊ぶのが好き。お手玉が得意。料理が好き。などなど
- あなたの「得意なもの」を活かしてみませんか？または、食事だけでもOKです。

「こども食堂*みらいのたね」

場所 平第一区区民会館
(平新町30)
開催日 主に最終の火曜日(不定期)
参加料 中学生まで 無料
高校生以上 500円(お手伝い割あり)
時間 16時～ 遊び場
18時～ 食事

こども食堂運営団体「あすのたね」

連絡先 代表 吉田ゆかり
y-yoshida@kanou-kikai.com
080-3323-5988(平日13時～)
※ご連絡、お問い合わせはできるだけメールでお願いします。

事務所 いわき市平字田町120LATOV6階
M3 カノウ機械設計事務所内